

ニ少壯將校ハ猛烈ニ反對シテ居ル様デアルカラ若シ宇垣内閣出現
 センカ犬養氏ノ二ノ舞ヲ現出スルデアロウ。
 此ノ點宇垣氏自身モ承知ナレバ假令元老重臣方面ヨリ組閣ノ猶豫
 アルトモ之ヲ拒絕スルモノト思料サル。 第二候補ノ平沼説ハ
 我國体ニ合致セザルフアツシヨ内閣デアルカラ絶對反對スルト同
 時ニ元老重臣モ亦反對スルデアロウ。 第三ノ政民聯立内閣説
 即チ鈴木氏ヲ主班トスル内閣ハ今暫ク輿論ガ許サナイデアロウ。
 結局ハ貴族院議長近衛文麿公ノ組閣ガ現在ノ世相ニ最も適應シタ
 ルモノト信スル。近衛公ナラバ從來ト變リ我々ノ主張スル社會民
 主主義的ナ政治ガ行ハレルモノト思フ。 近衛公ハ社會大衆黨
 書記長麻生久及龜井貫一郎等ト同窓關係アリ過般東京某所ニ於テ
 會合ノ節近衛公内閣ナラバ入閣シテ一臂ノ力ヲ添ヘタイト談合セ
 シコトガアル由ニシテ個人的ニ相當接近シ居リ社大黨ハ双手ヲ舉
 ゲテ近衛内閣ノ出現ヲ待望スルモノデアル。」

總聯合

坂本 孝三 郎

「今労働運動ニ没頭シ政治運動ニ餘リ關與シナイ關係上政界ガ如何
 ニ動クカハ一寸考ヘガツカナイ

新聞紙ノ傳フル黒田問題ハ相當紛糾スルデアロウガソレガ發展シ
 テ政變トナルカ如何カハ今ノ處豫斷シ得ヌ、唯一此問題ヲ現内閣
 ハ止メヌガ何カノ機會ニ於テ理由ヲ他ニ求メテヤメル」ト云フコ
 ト、一後繼者トシテ宇垣氏ガ最も有力」ト云フ噂ハ假令嘘トシテ
 モ本當ラシイ、首肯シ得ル嘘デアルト思フ

目下我組合ハ政黨ニ對シ關心ヲ持タナイノデ何等政黨的行動ガナ
 イ、從ツテ現在ノ處時局ニ處スベキ何等行動方針ヲ持ツテ居ラヌ、
 組合ノ結束ヲ第一トシ今暫クハ世想ヲ靜觀スルコトガ最もヨイ現
 在ノ行方メト思ツテ居ル」

新日本國民同盟

寺島

剛毅

「世間デハ現内閣ノ存續ノ可否ニ就テ種々取沙汰サレテ居ルガ自分